



“達人”も出た新格闘技
『巖流島』の行方は!?

一度落ちた人間が同じジャンルで成功を
収めた事例はまずない!

—— 谷川さん、フジテレビでの大晦日復活劇おめでとうございませう!

谷川 いや、マジメな話さあ、僕、いまだに方々で「大晦日、頑張ってください!」って声をかけられるんだよね。だからね、ここでも一応断っておきますけど、僕は「大晦日には全く触ってませんから。あれは、バラさん(榎原信行)の復活劇ですからね。」

—— 同じく大晦日にTBSで放送される「魔装斗vs山本KID」徳都」を仕掛けているのも谷川さんじゃないかという噂もあります。

谷川 いやいや、だから僕はまったく関与してないです。ただ、魔装斗君とはずっと心の底では深い信頼関係がある、僕は思ってますけどねえ。

—— 『巖流島』の解説もしましたよね。

谷川 うん。でも、大晦日のことは何も連絡ないんだよね。『魔装斗vsKID』は、もともと僕が組んだカードなのになあ。

—— 信頼関係が早くも崩壊(笑)。

谷川 まあ、これまで築いてきた心の絆があるから、いいんです。魔装斗君がなぜ今になって試合をするかとい

『巖流島』イベント広報部長

谷川貞治

K-1やPRIDEの成功体験を
捨てることが、格闘技復興に
繋がると思います!

聞き手/編集部(大武道君式号)

今年、フジテレビが8年ぶりに大晦日ゴールデンタイムで格闘技イベントを行う。そのイベントは、かつてPRIDEを主催していた榎原信行氏が手掛ける新イベント『RIZIN』。その一方で、田村潔司、60歳の合気の達人が出演して話題になった新格闘技イベント『巖流島』は、大会2日前にフジテレビCS放送を突然切られた。その『巖流島』は今後いったいどうなっていくのか? 同イベントの広報部長でもある谷川貞治に聞いてみた。

うと、子供たちに闘う姿を見せたいからじゃないのかな。現役時代には見せられなかったから。彼はすごく子煩悩なので、その気持ちはよくわかる。聞くところによるとめちやくちやハードなトレーニングをしているみたいです。

—— 今も変わらずストイックなんですね。ということは谷川さんは、『RIZIN』にもTBSにも1ミリたりとも関わっていないということですか?

谷川 まったくありません! もともとフジテレビは『巖流島』を、大晦日格闘技「復活のためのコンテンツ」として始めたはずなんですけどねえ。でも、僕個人は大晦日には全然こだわってないんですよ。今回の件もそうだけど、あれをやるから格闘技はおかしくなる!

—— いや、始めたのは谷川さんですよ! ということは、おかしくしたのも谷川さんですよ!

谷川 (まったく話を聞かず) それに、こう見えても僕は「大晦日に唯一紅白に視聴率で勝った男」ただけだよなあ。

—— やるなら俺にやらせろと?

谷川 いや逆! 自分でも今は驚くほど視聴率を取る自信がないです。どうせ大晦日にやるなら驚くほどの結果が出ないと意味もないでしょ?

—— 谷川さんが大晦日をやったところは、国民的番組であるNHKの紅白に追いつけ追い越せという姿勢。つまり、格闘技を国民的コンテンツにするという大義のもとにやっ